

自然あふれる天草を走る

天草マラソン大会

11月16日、「第9回天草マラソン大会」が本渡運動公園陸上競技場前をスタート・同競技場をフィニッシュとするコースで開かれました。県内外からフルマラソン（42.195km）とハーフマラソン（21.0975km）に4,024人（フルマラソン2,026人・ハーフマラソン1,998人）が参加。選手たちは、沿道から盛んな声援を受けながら思いおまいのペースで走っていました。

なお、大会結果は次のとおりです。

大会結果（1位のみ。敬称略）

フルマラソン男子・富高一成（福岡県）
2時間31分26秒
同女子・小城久美子（福岡県）
2時間49分52秒
ハーフマラソン男子・斉藤友章（宇城市）
1時間8分25秒
同女子・前田淳子（大津町）
1時間28分4秒



▲本渡運動公園陸上競技場前を一齐にスタート



▲1位でゴールする富高選手



▲沿道からは盛んな声援



▲ボランティアスタッフも大会をサポート



▲タイ釣りのようす

毎年恒例の“タイ釣り”に多くの人出

牛深あかね市

12月6・7日、「第25回牛深あかね市」が牛深ハイヤ大橋横の芝生広場を主会場に開かれ、県内外から約2万5,000人が来場しました。地元の海産物や農産物を販売する“いきいきマーケット即売会”や毎年恒例の“タイ釣り大会”などが実施されました。

タイ釣り大会には約1,300人が参加。参加者は、「毎年この日を楽しみにしています」と笑顔で話していました。

「天草の崎津集落」

世界遺産登録への道

Road to World Heritage

世界遺産登録推薦記念セミナーを開催！

「天草の崎津集落」を含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が9月に世界文化遺産の国内推薦候補になったことを記念して12月14日、「世界遺産登録推薦記念セミナー」を河浦町の一町田地区コミュニティセンターで開催しました。地元住民など150人が来場。世界遺産への登録を見据えた今後のまちづくりについて考えました。



▲会場ようす

河浦高校の生徒たち

「自分たちにできることをやっていきたい」

富津太鼓保存会による太鼓の演奏でセミナーの幕が開いた後、田中尚人・熊本大学准教授と河浦高校の生徒6人が、崎津・今富地区で行っている地域づくりの取り組み概要を紹介。生徒たちは、「清掃ボランティアや地元の歴史を知るなど、自分たちにできることをやっていきたい」と話していました。



▲富津太鼓保存会による太鼓の演奏



▲田中准教授



◀発表を行う河浦高校生徒

「市民と行政が連携していくことが大事」

その後、世界文化遺産・無形文化遺産部会委員の内田篤^{とく}氏^しが、「天草の宝による町づくり」と題して講演。世界遺産を活用したまちづくりを進めている海外・国内の事例を紹介しながら、「世界遺産を地域振興につなげるためには、市民と行政がそれぞれの役割を果たし連携していくことが大事」と話していました。また、地域づくりなどを行っている（株）談（熊本市）の丸野香代子氏による、崎津のおもてなしに関する講話も行われました。

来場者は、「まちづくりやおもてなしについてあらためて考えることができた」と話していました。



▲丸野氏



▲内田氏

【問い合わせ先】本庁・世界遺産推進室（河浦支所内）☎761116